

生分解性マルチ(コーンマルチII)の効果確認試験

JAきたひやま

平澤 勇人



H28.5.15 コーンマルチII展張作業



H28.5.16 試験品



H28.5.16 現行品



H28.8.5 試験品



H28.8.5 現行品



すき込み後

試験目的

生分解性マルチの現地適合性の確認

試験作物 及び品種

スイートコーン

試験資材 及び数量(規格)

コーンマルチII(95cm×400m) 黒 1本

慣行資材

キ工丸

栽培方法

播種日	収穫日
5月11日	7月末～
【栽植密度】 畝幅：45cm 株間：30cm	

資材使用期間

5月11日～9月15日

試験区面積

380㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張作業等については、慣行品と比較し差はなかった。

しかし、通常は有孔品を使用しており、試験品は無孔であったため、穴あけ作業に手間がかかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

特に差はなかったと思うが、雑草抑制効果において、もっと優位性が発揮できればよかった。

マルチ下の雑草の草勢は変わらなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【問題点】：通常は有孔品を使用しているため、そこから分解が進まないか心配。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

鋤き込みが問題なくできたため、分解性について今後の経過観察を行いたい。

(5)促成・抑制効果について

生育に大きな差がないため、問題ないと思う。

(6)保温効果について

生育に大きな差がないため、問題ないと思う。

(7)雑草・病害虫の発生について

雑草抑制効果があればよかった。

モニター感想

コーンマルチIIについては、慣行品と変わらない評価と言える。

ただし、今回は穴あけ作業を自分でやったが、現在使用しているものと同様に最初から有孔加工していた場合、強度・分解性に差がないかどうか気になる。

JA担当者の感想(安藤 氏)

スイートコーンについては、栽培後のマルチを剥く作業が重労働となるため、分解性マルチの需要が多い。

今後、サンブラックマルチが無くなるため、生分解性マルチには製品品質はもちろん、価格面においても期待している。

低コスト化へ向けた取り組みを今後も取り進めていただきたい。

今後の使用について

改良して欲しい。

生分解性マルチは価格が高いのがネックになっており、通常マルチよりも大きな効果を期待したくなる。そのため、雑草抑制、強度、保温性について、優良な商品を紹介してほしい。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリントート

5 機能性マルチ

6 育苗資材

7 不織布

8 その他